

SUPER 耐久シリーズ 2012 第 3 戦

in

スポーツランドSUGO



東 徹次郎

TOHJIRO AZUMA

初のドライバー2人体制で臨んだSUGO！！
悔しい結果も自分には手ごたえを感じた週末！！

- ・開催サーキット：スポーツランド SUGO (3.704km)
- ・チーム：KOTA RACING&AGE♂AGE♂RACING
- ・マシン：Olive SPA NSX
- ・メンテナンス：TRACY SPORTS
- ・カーナンバー：#70
- ・クラス：ST-3
- ・ドライバー：A NAORYU B 東 徹次郎



予選（5月20日）

◆Weather：晴れ ◆Course：ドライ

今回練習から一番手ごたえのあった SUGO。

A ドライバー予選では NAORYU 選手も前日の自己ベストを2秒くらい上げてきて、自分のタイム次第で予選順位を上げられるので気合いも入りました。

気温も高くなってきてタイヤのグリップもすぐ出てきそうなコンディションでしたので、コースインしてすぐに位置取りに集中しました。

うまく間隔も取れて ST-3 クラスのマシンの後ろにつけ、アタック開始です。

1周目で31秒59、そのまま2周目もアタックにいきます。

この週の1・2コーナーも手ごたえは良く更なるタイムアップを狙いますが、ピットアウトしてきた車両と4コーナーで被ってしまい、若干タイムロス・・・。
結果この周は31秒8、次のラップは無難にまとめたものの更新出来ずまたも31秒8でした。

ここで1周クーリングラップを入れます。

そしてラストアタックに入ったのですがシケインでオーバーステアが出てしまい、セクター1の時点で絶対タイム更新出来ないと感じたので、すぐにアタックを止めてピットに戻りました。

結局最初のアタックのタイムが一番良く、クラス5位で予選を終えました。

しかしコンスタントにタイムも出ていてマシンのバランスも良かったので、決勝に向けて良い手ごたえを感じました。

A ドライバー予選タイム：1'32.764（クラス8位）

B ドライバー予選タイム：1'31.599（クラス5位）

A・B合算順位：クラス7位



決勝（5月20日）

◆Weather：晴れ ◆Course：ドライ

今回は2人体制ということもあり、自分がスタートとゴールを担当し、NAORYU選手が真ん中のパートを走るという作戦でした。

また、事前にエンジニアさんとの打ち合わせでおそらく荒れるレースで一度はセーフティーカーが入るから、もし早いタイミングでセーフティーカーが入った場合、早々に最初のドライバー交代をして残りをロング2回で引っ張ることもあり得ると話していました。

予選の合算で7位スタートの為、おそらくペースが自分より遅いであろうマシンが前にいるのは間違いなかったため、タイヤもまだ発熱しきっていないスタートしてからの数周でいかに前に出るかを考えて臨みました。

実際に今回もスタートは成功します。

1コーナーで39号車のインに飛び込み、そのまま2コーナーにかけて並走して前に出ることに成功します。

そしてその直後の3コーナー、前にいた35号車が目の前でイン巻きスピン。すぐにマシンをアウト側に寄せてギリギリ当たらずに回避出来ましたが、後続のST-4クラスのインテグラが35号車と当たってクラッシュ・・・。

このクラッシュで両車とも大破し、開始2周目で早くもセーフティーカーがコース上へ。

すぐさま自分も無線でピットとどうするか話します。

1周は様子を見て2周目もまだセーフティーカーのランプが消えず再スタートにはならなかったため、ここで交代という判断になり、3周を終わるところでピットへ。

この時点で2つポジションを上げてクラス5位です。

このピットで燃料のみフル満タンに給油してNAORYU選手がコースイン。NAORYU選手がコースインしてすぐにコースは再スタート。

無線でローリングスタートのポイントをレクチャーして、無難に混乱をクリアしていきます。

SUGOはコース幅が狭く今回台数もかなり多いので、その経験が浅いNAORYU選手にとってはバックマーカーを抜きながら速いマシンにもうまく抜かれ、尚且つレースラップを上げていくことに苦戦していました。

燃費を計算して残りギリギリ燃料がもつくらいの距離まで来たため、予定よりは少し早く自分が再び乗り込みます。

この時点でクラス8位、前との差もかなりあって7位のマシンとは1ラップ差

がついてしまっていたので、とにかくプッシュあるのみでした。

決勝での自分の意識としては、1つでもポジションを上げることは勿論ですが、課題にしていたレースラップです。

軽くなってきた時にタイムをちゃんと上げていくことが、前回は出来ていなかったのです。

乗り込んだ時点で残り時間は約1時間半。

最後のパートの前半はピットアウト時に前にいた5号車のZとのバトルになりました。

一度1コーナーで前に出たのですが、SPコーナーでバックマーカーをインから抜こうとした際に、更にイン側から強引に突っ込んできて左の横を当てられてしまいます。

コーナーをいくつか過ぎてもマシンに違和感は無かったので、無線で状況を伝え、そのまま走行を続けます。

前との差もあるので少しでも速く走れるよう、自分の課題を意識しながら乗り方をアジャストしてとにかくトライしていくつもりで走行していました。燃料が軽くなってきてマシンの軽快さは出てきてもレースも後半でブレーキも最初よりは効きが鈍くなってきていたので、重い時よりもより立ち上がり重視を意識してアクセルをしっかりと開けていけるようなイメージで走ったら、タイムも上がってきました。

結果的にベストタイムも後半スティントではトップの方とも遜色無いタイムが出せていました。

7位のマシンとの差も最終的に15秒差とかなり縮めたものの追い付くところまではいかず、最終的に8位でチェッカーを受けました。

決勝：8位 (Total:110Laps)

※ベストラップ：1'33.073 (Total:61Laps 走行)

(A ドライバーベスト：1'35.274 Total:49Laps)



反省

今回、前回からの課題にしていた速さという部分では進歩があったと思います。

特にレースラップはしっかり刻めていて、軽くなってきたときもタイムを上げることが出来ましたので。

しかしながら予選での一発のスピードなど、もっと磨きをかけていかなければいけないですし、この進歩を後半戦でもっと飛躍させていかなければと感じます。

今回の SUGO は狭い分バックマーカの処理の仕方一つで大きくタイムも変わってくるので、こういったところの処理の仕方をもっと上手くならなければと思います。

あとは練習のときなど特になんですが、短時間でタイムをしっかりと出せることが後半戦での課題になります。

自分がすぐにタイムを出せればもっとチームメイトにも時間を作っていくことが出来て、チームのレベルの底上げにもなりますので。

次回の岡山まではしばらくインターバルなので、しっかりイメージトレーニングをして、よりチームを引っ張っていけるような速さとリーダーシップを意識して頑張ります。



最後に

今回、遠方にも関わらずたくさんの方々に応援に来て頂き、本当に有難うございました。

メールやお電話での激励も、非常にモチベーションに繋がりました。

これで前半戦が終わりました。

結果として残すことが出来ていなくて本当にすみません。

1戦1戦自分自身の進歩と内容は良くなってきてはいるのですが、最終的には結果として残らなければ意味がありませんので。

自分がしっかりと成長して NAORYU 選手を引っ張っていけるよう、後半戦も全力で頑張ります。

次回は8月に岡山での戦いです。

真夏の岡山は体力的にも本当に過酷なものになるので、フィジカル面もしっかりと鍛えて真夏の第4戦に向けて備えたいと思います。

どうぞ今後とも御支援御声援の程、宜しくお願い致します。

2012年5月22日

東 徹次郎

